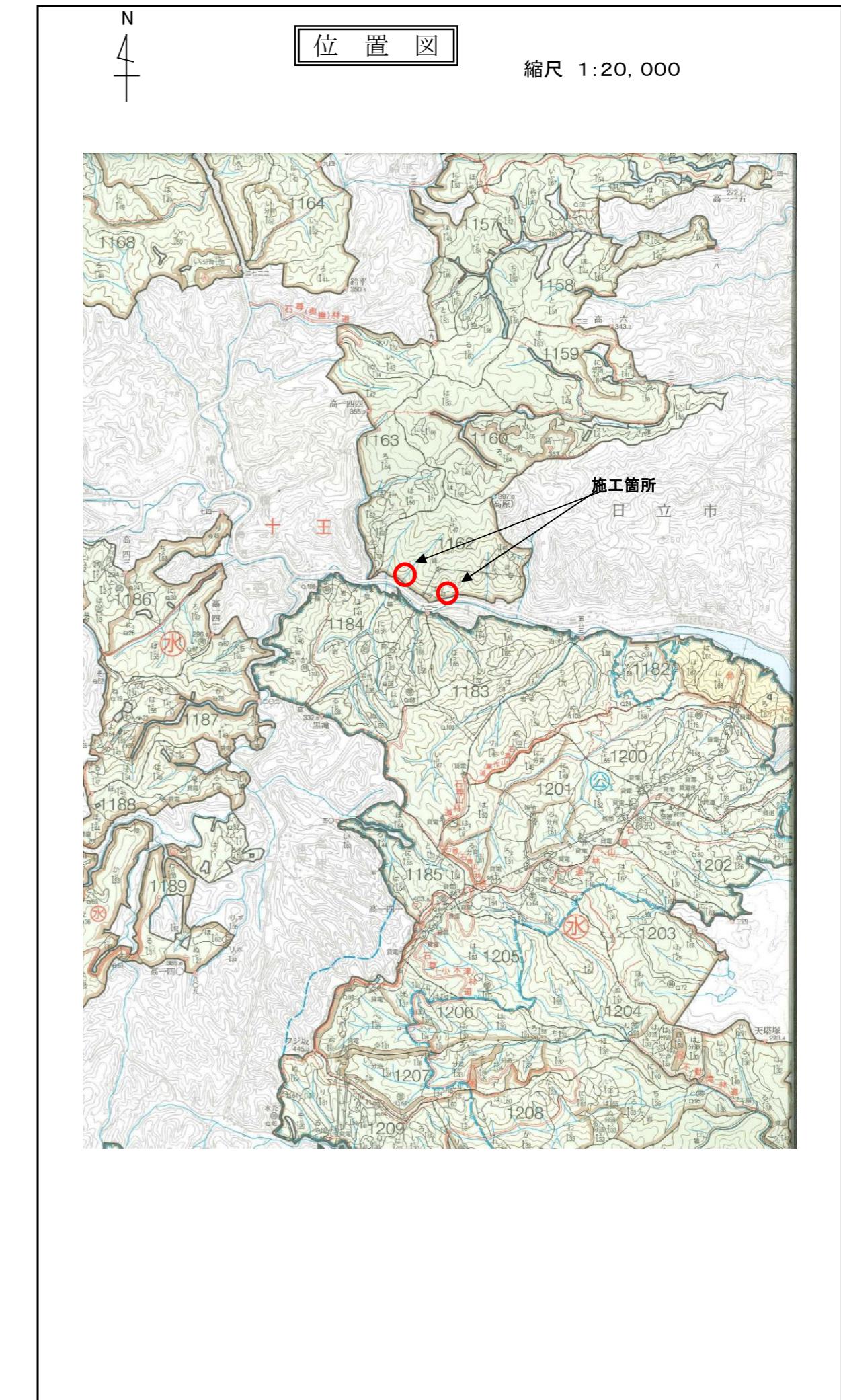
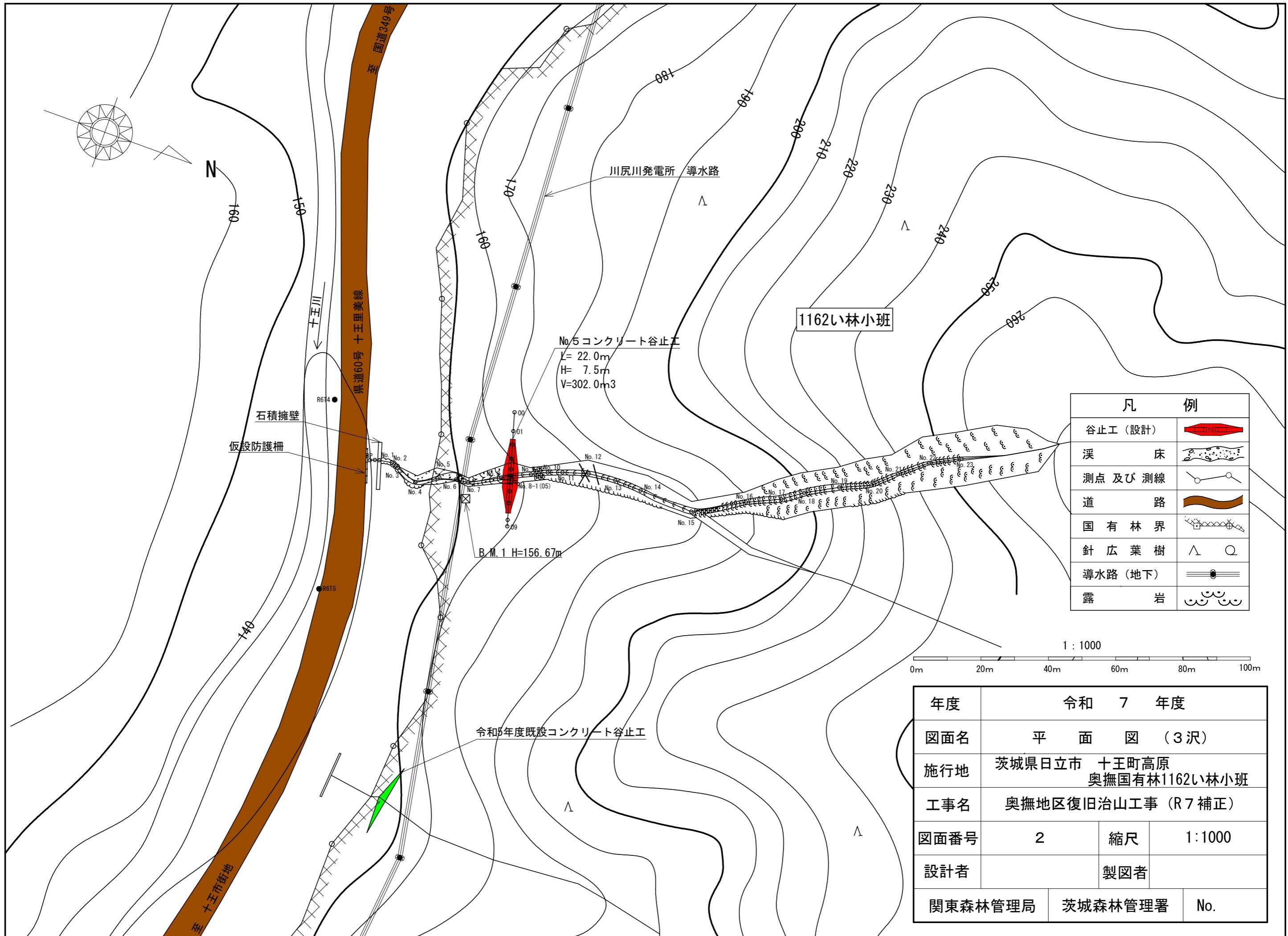


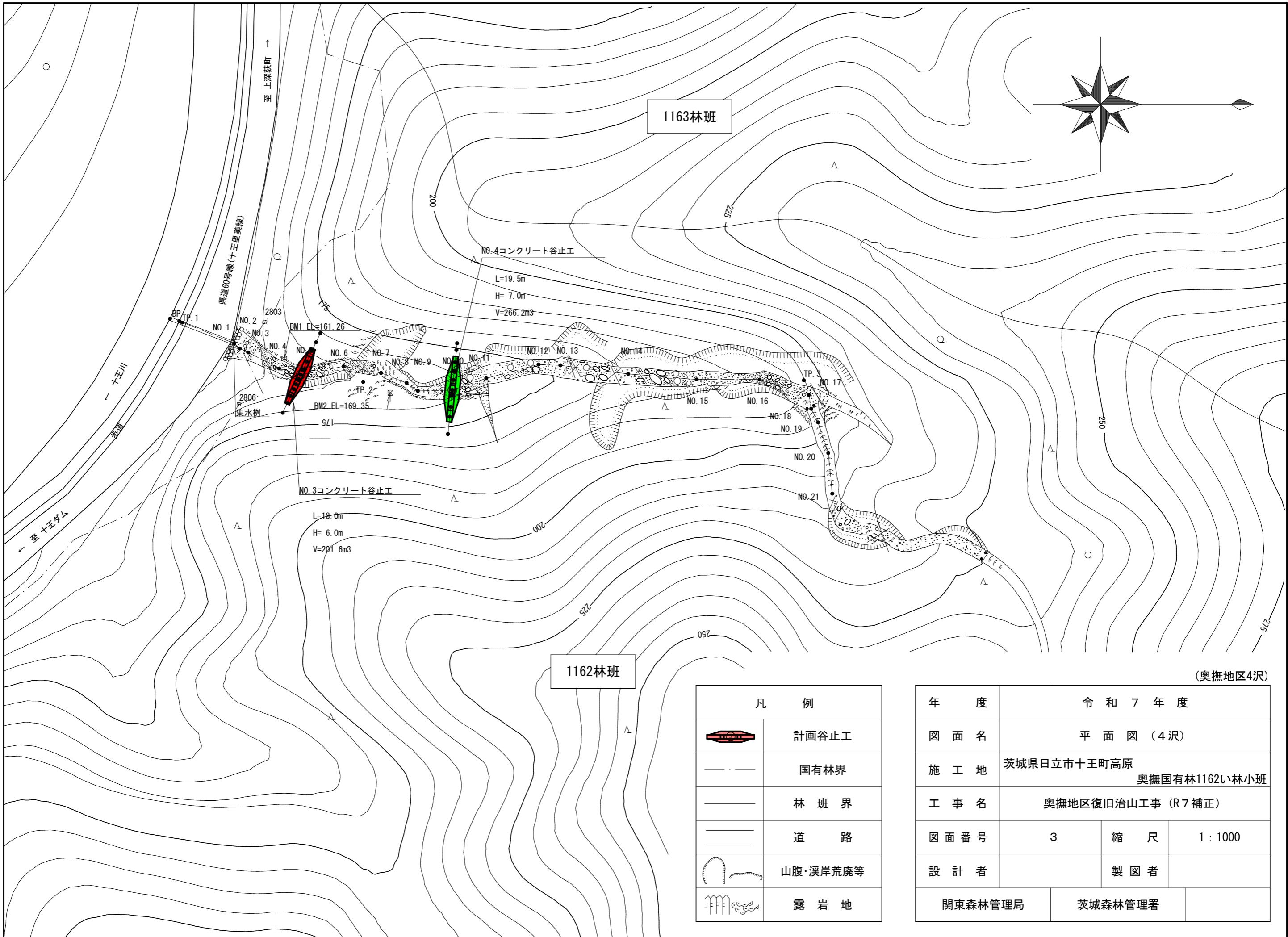
令和 7 年 度

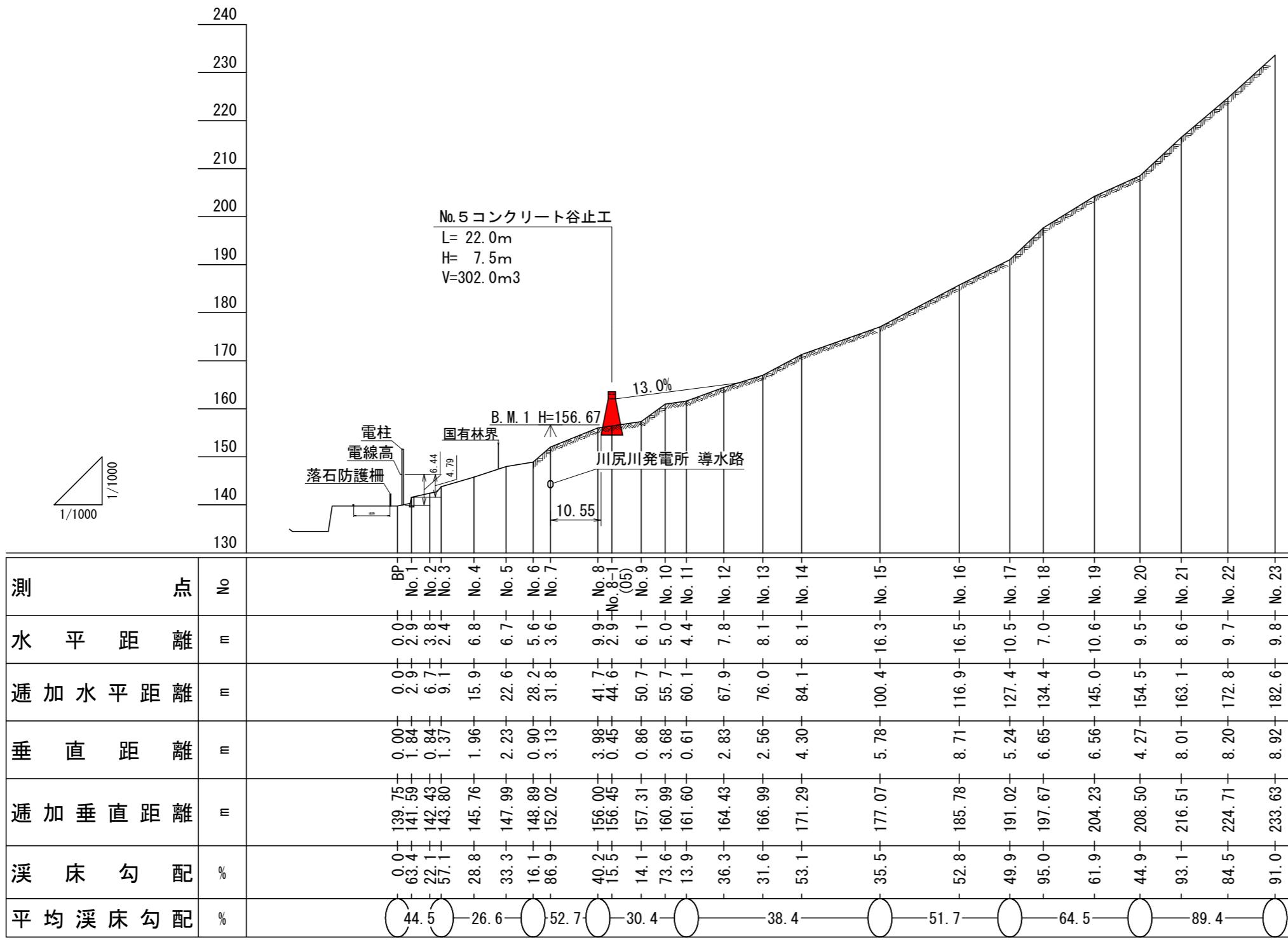
施工地	茨城県日立市十王町高原 奥撫国有林1162い林小班								
工事名	奥撫地区復旧治山工事 (R7補正)								
設 計 図									
工種	渓間工	数 量	一 ha	山腹安定面積	一 ha	貯砂量	一 $m^3$	現渓床勾配	16・46 %
集水面積	9.6 (2沢計) ha	崩壊地の方位	南	山腹平均傾斜	一 度	海拔高	160~170 m	計画勾配	8・13 %
		有林地	一 %	無林地	一 %	年間降水量	1400 mm	最大日雨量	285 mm
地質									
関東森林管理局 茨城森林管理署									

図面目録		
番号	図面名	葉枚
2	平面図 (3沢)	1
3	平面図 (4沢)	1
4	縦断図 (3沢)	1
5	縦断図 (4沢)	1
6	床掘図 (3沢No.5コンクリート谷止工)	1
7	構造図 (3沢No.5コンクリート谷止工)	1
8	間詰図 (3沢No.5コンクリート谷止工)	1
9	床掘図 (4沢No.3コンクリート谷止工)	1
10	構造図 (4沢No.3コンクリート谷止工)	1
11	間詰図 (4沢No.3コンクリート谷止工)	1
12	丸太残存型枠標準図	1
13	仮設計画図 (3沢)	1
14	仮設計画図 (4沢)	1
15	仮設防護柵撤去・再設置図	2





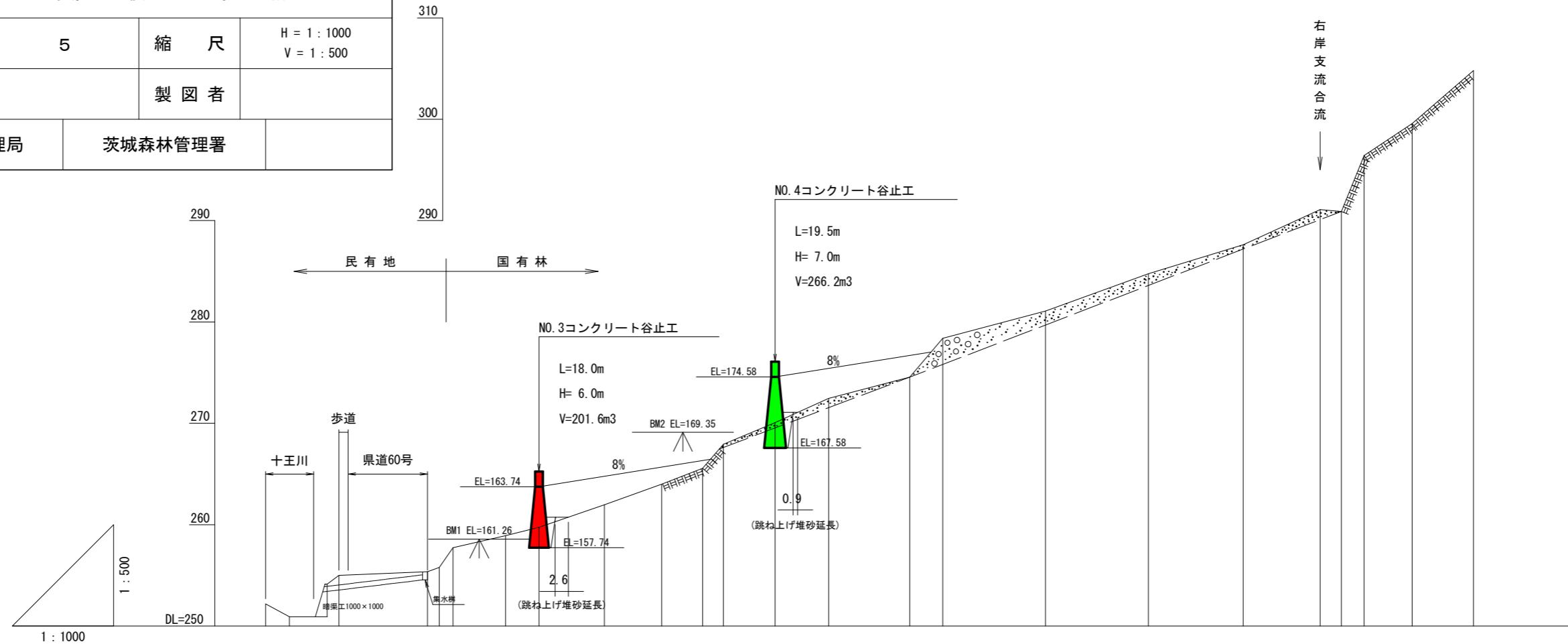


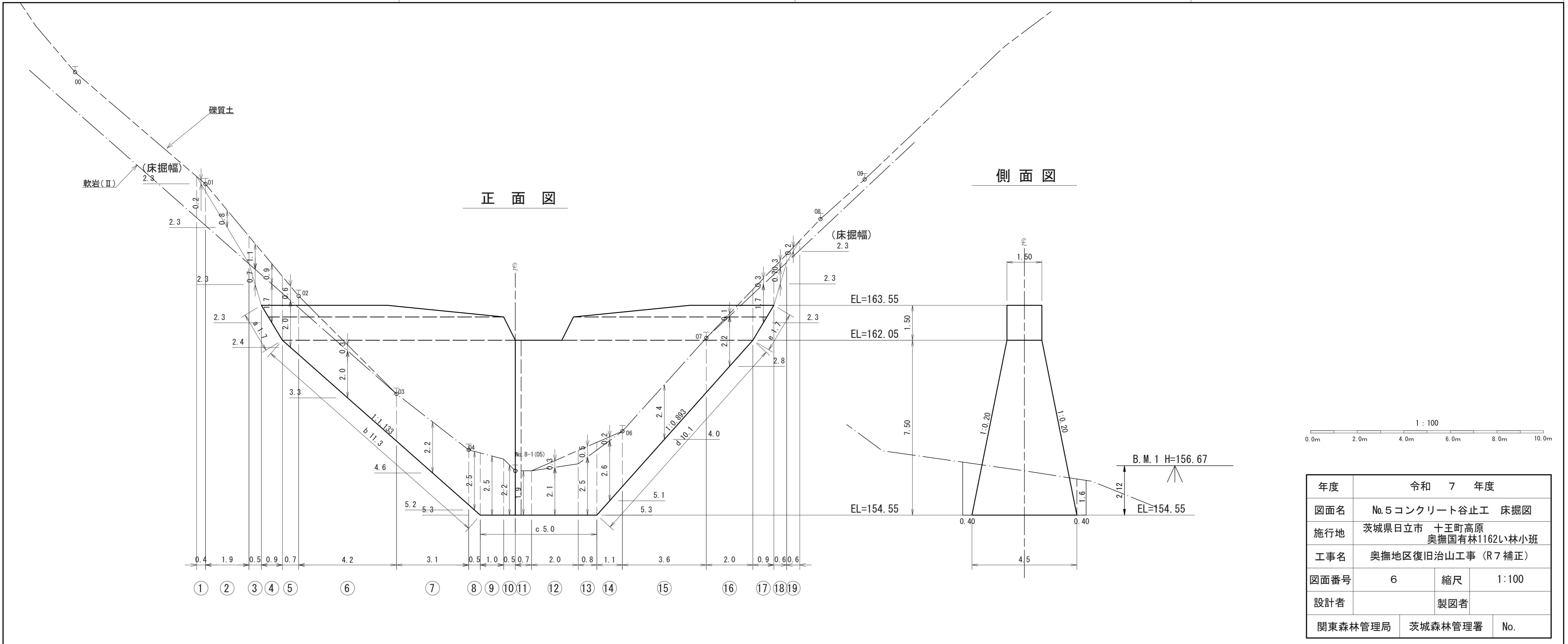


年 度	令和 7 年度		
図面名	縦断図 (3沢)		
施 行 地	茨城県日立市 十王町高原 奥撫国有林1162い林小班		
工 事 名	奥撫地区復旧治山工事 (R7補正)		
図面番号	4	縮 尺	図示
設 計 者		製図者	
関東森林管理局	茨城森林管理署	No.	

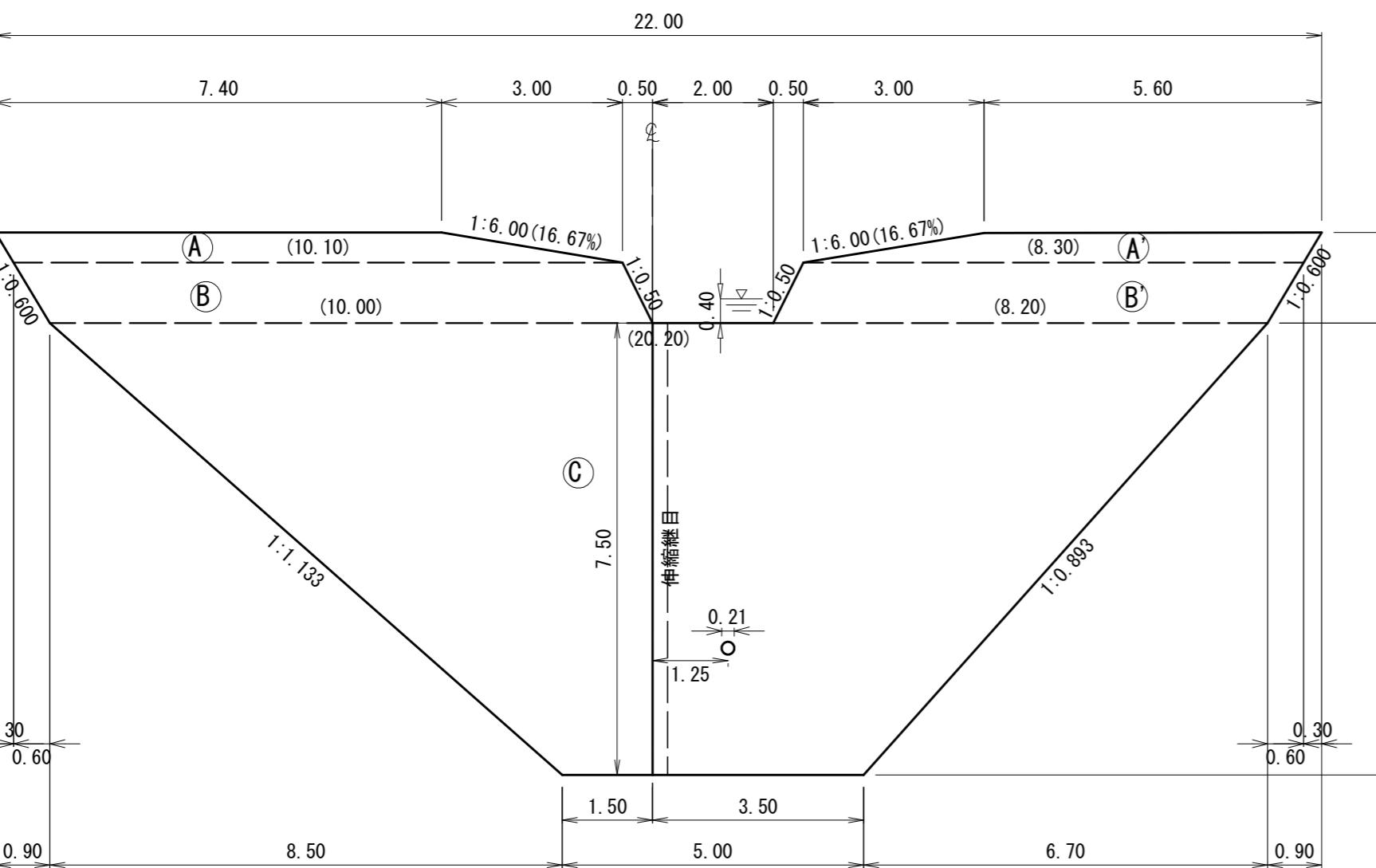
年 度	令 和 7 年 度		
図 面 名	渓床 縦 断 面 図 (4沢)		
施 工 地	茨城県日立市十王町高原 奥撫国有林1162 <small>い</small> 林小班		
工 事 名	奥撫地区復旧治山工事 (R7補正)		
図 面 番 号	5	縮 尺	H = 1 : 1000 V = 1 : 500
設 計 者		製 図 者	
関東森林管理局	茨城森林管理署		

(奥撫地区4沢)

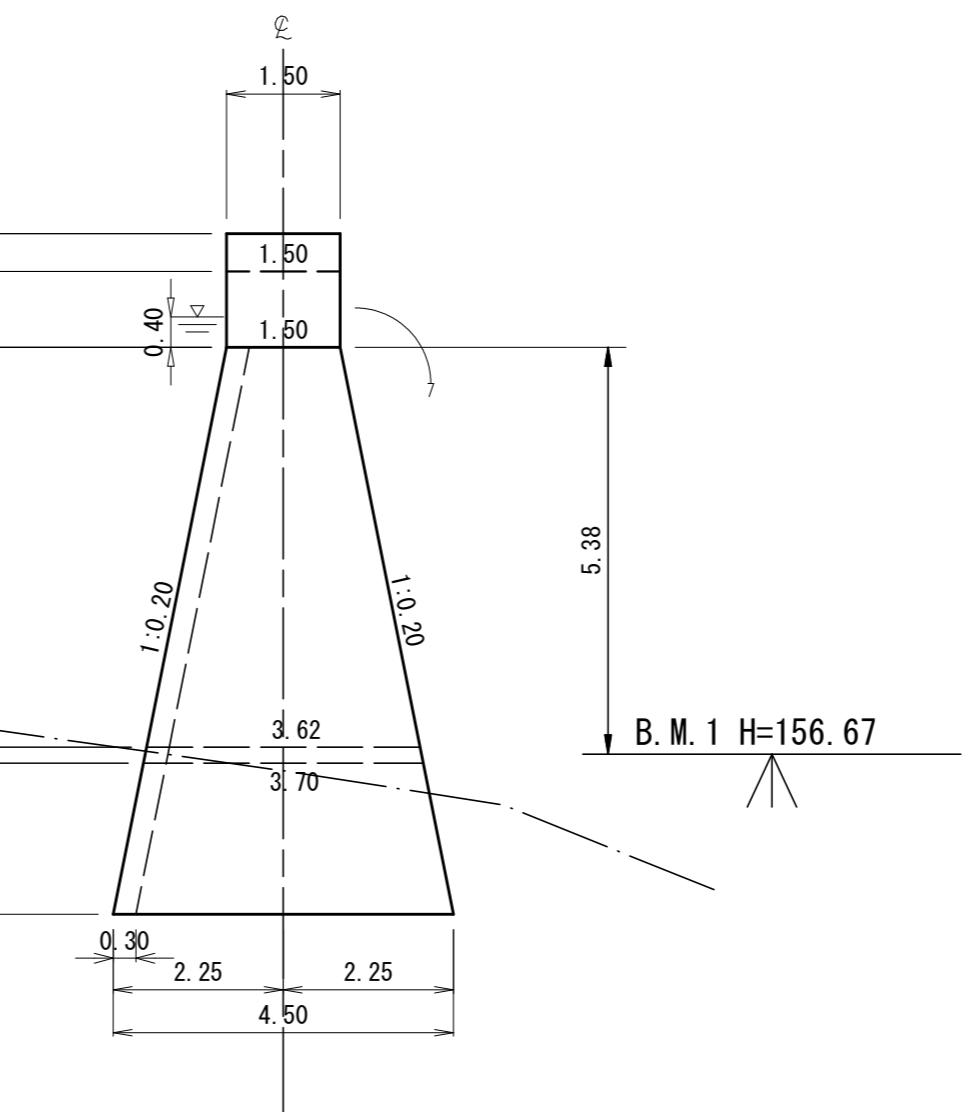




## 面　義

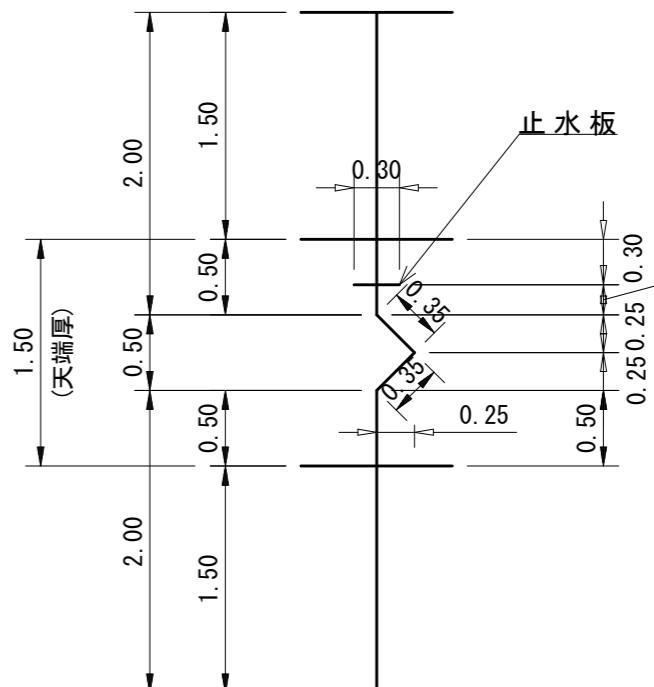


## 側面図

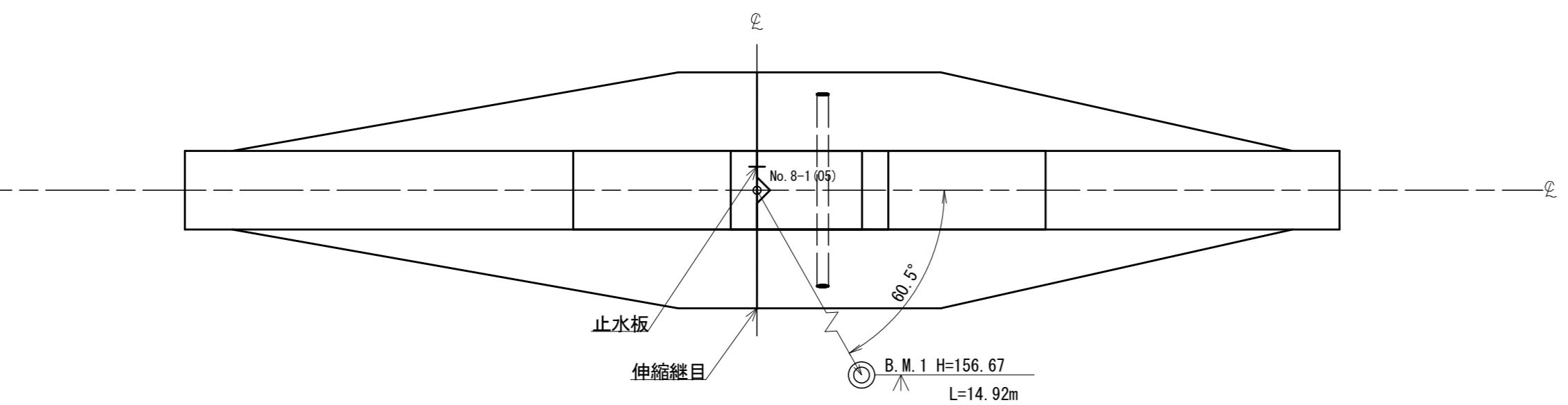


## 伸縮継目詳細図

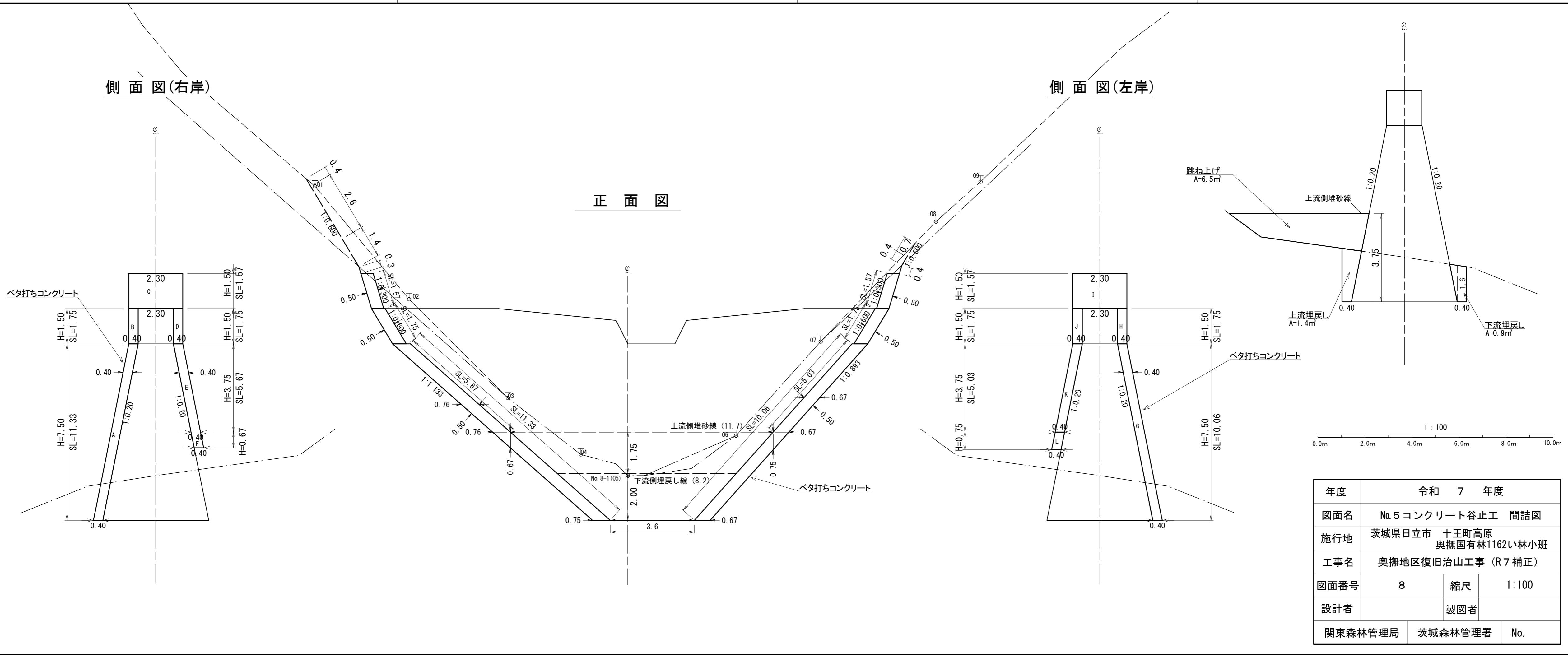
S=1:5

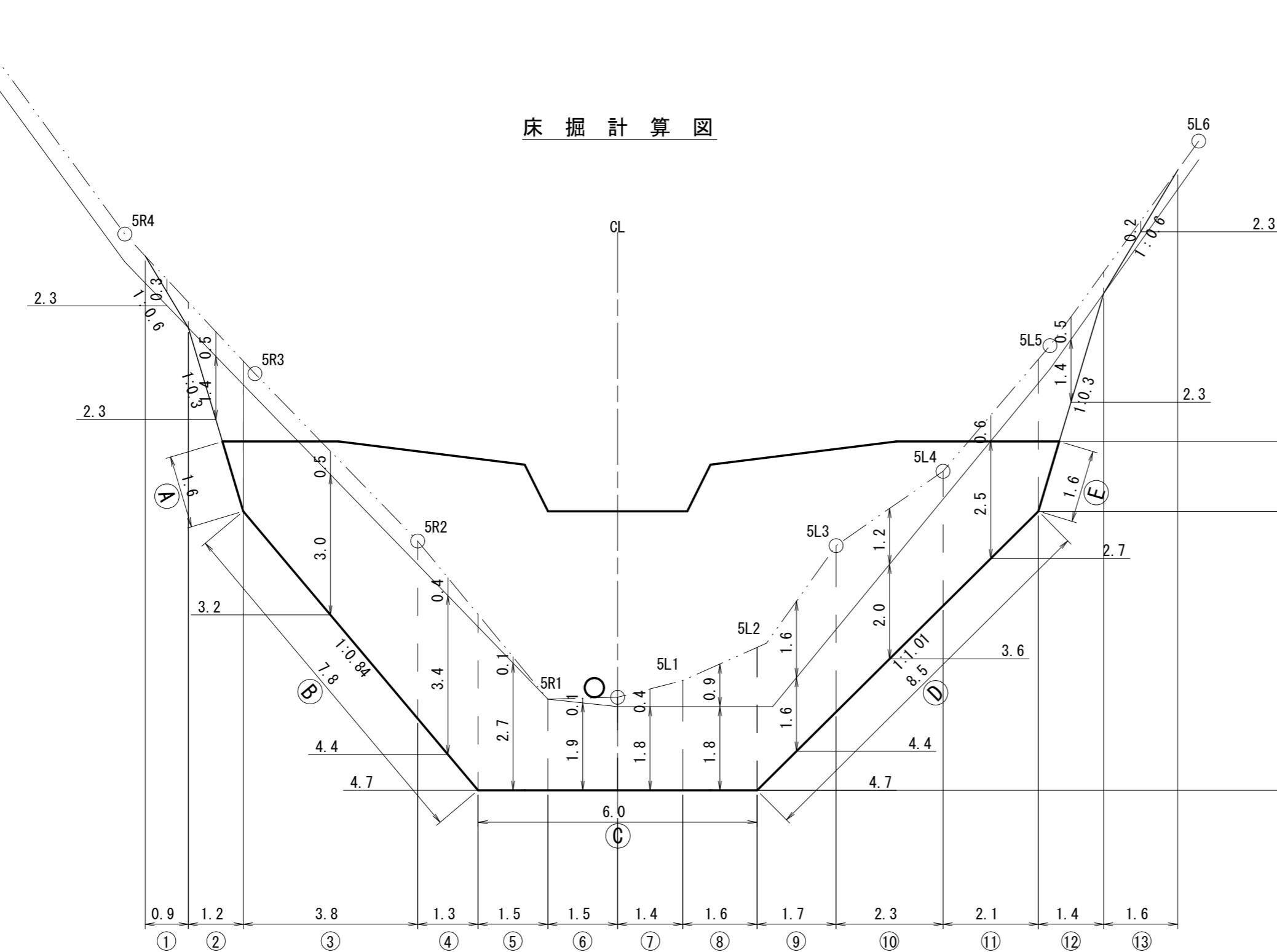


# 立 面 図



年度	令和 7 年度		
図面名	No. 5 コンクリート谷止工 構造図		
施行地	茨城県日立市 十王町高原 奥撫国有林1162い林小班		
工事名	奥撫地区復旧治山工事(R7補正)		
図面番号	7	縮尺	1:100
設計者		製図者	
関東森林管理局	茨城森林管理署	No.	





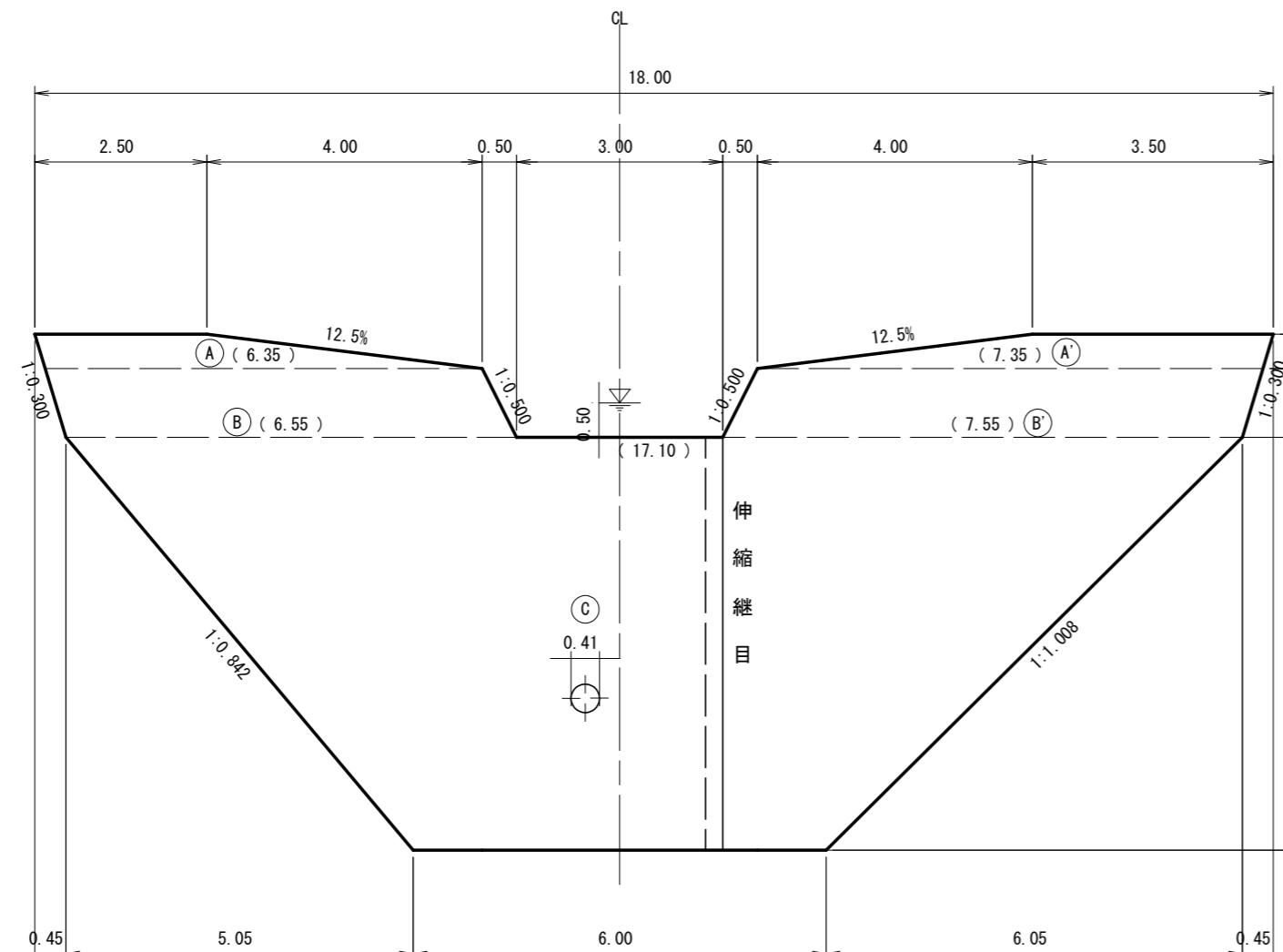
## 床掘計算図

## 側面図

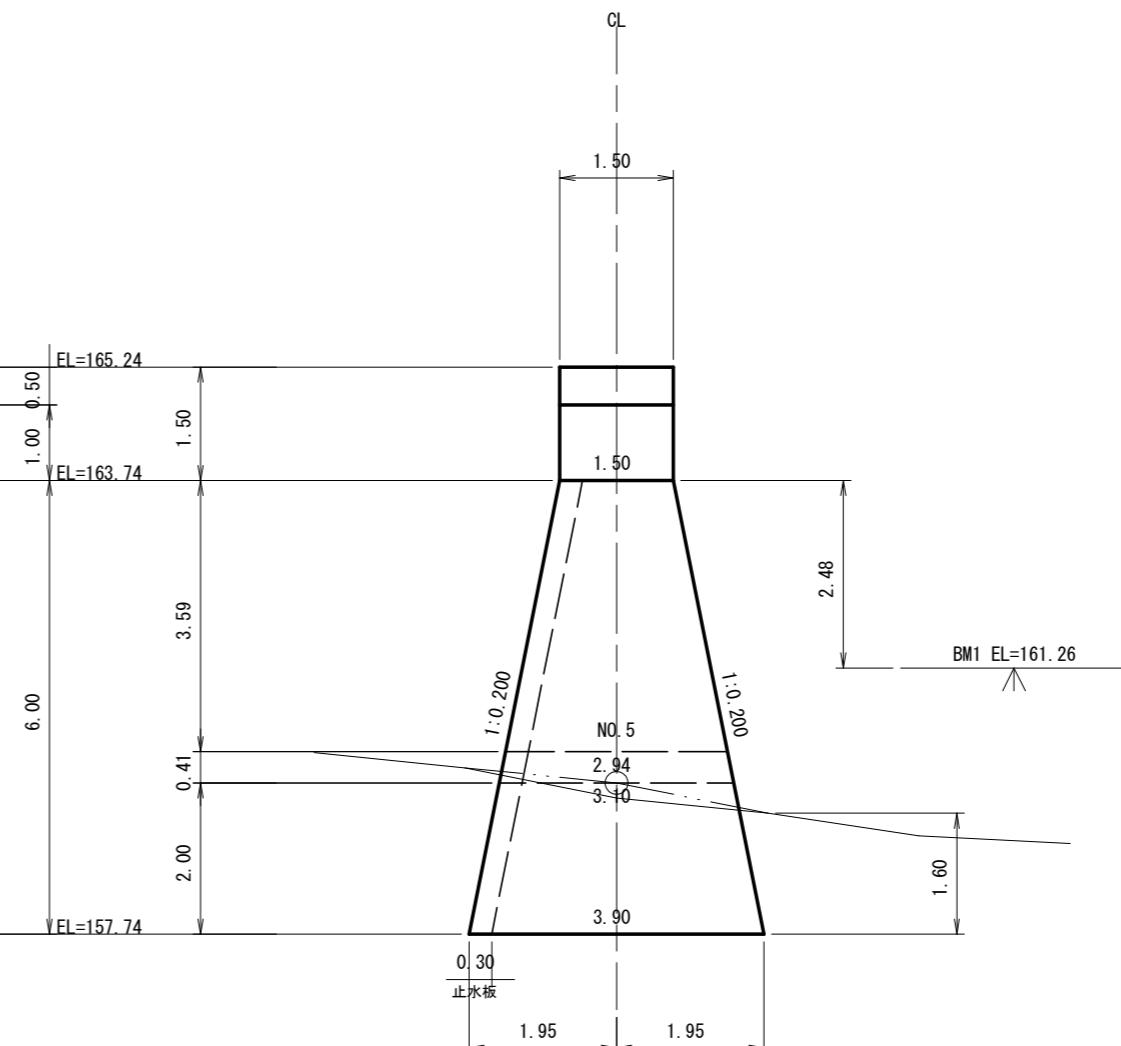
(奥撫地区4沢)

図面名	N0.3コンクリート谷止工 床掘図 (4沢)		
図面番号	9	縮尺	1:100

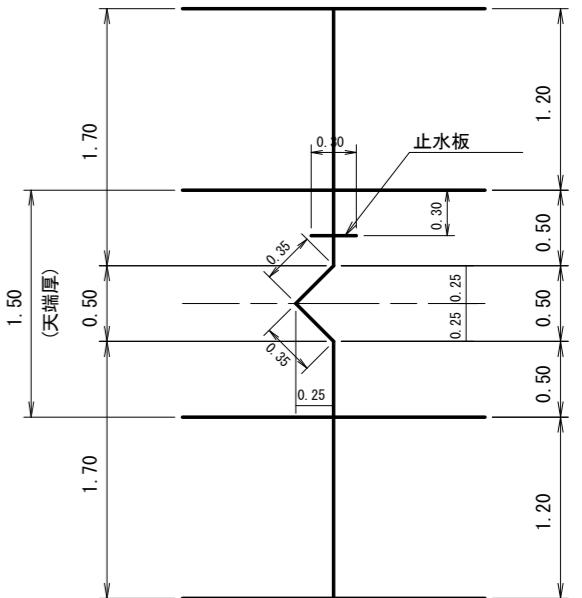
正面圖



### 断面図

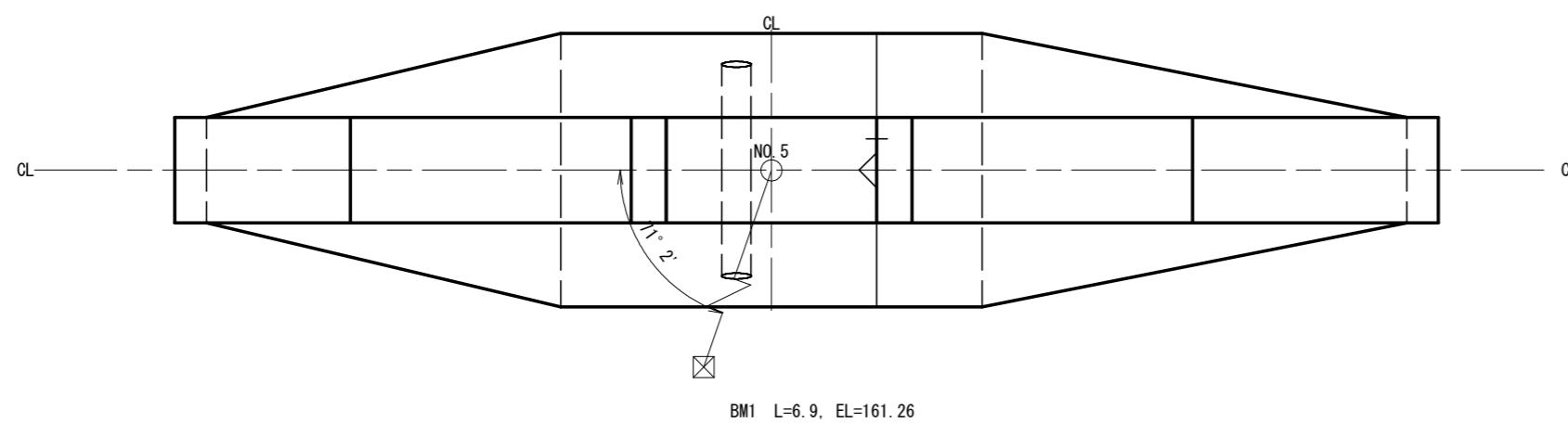


## 伸縮継目詳細図

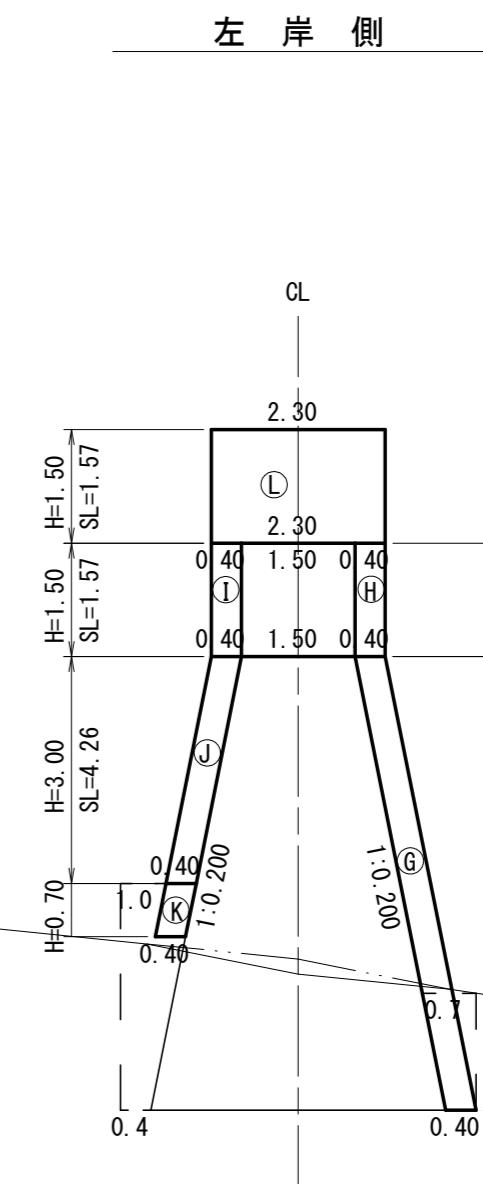
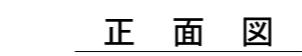
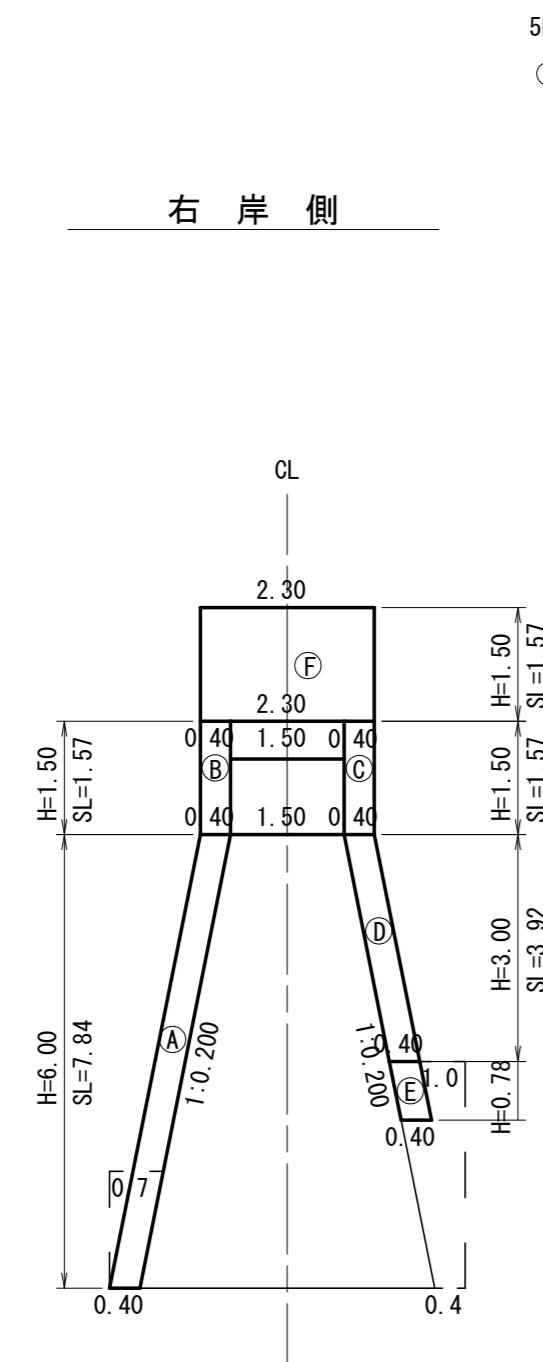


## 奥撫地区4沢)

## 平面圖



年 度	令 和 7 年 度		
図 面 名	N0.3コンクリート谷止工 構造図（4沢）		
施 行 地	茨城県日立市十王町高原 奥撫国有林1162い林小班		
工 事 名	奥撫地区復旧治山工事（R7補正）		
図面番号	1 0	縮 尺	1 : 100
設 計 者		製図者	
関東森林管理局	茨城森林管理署		

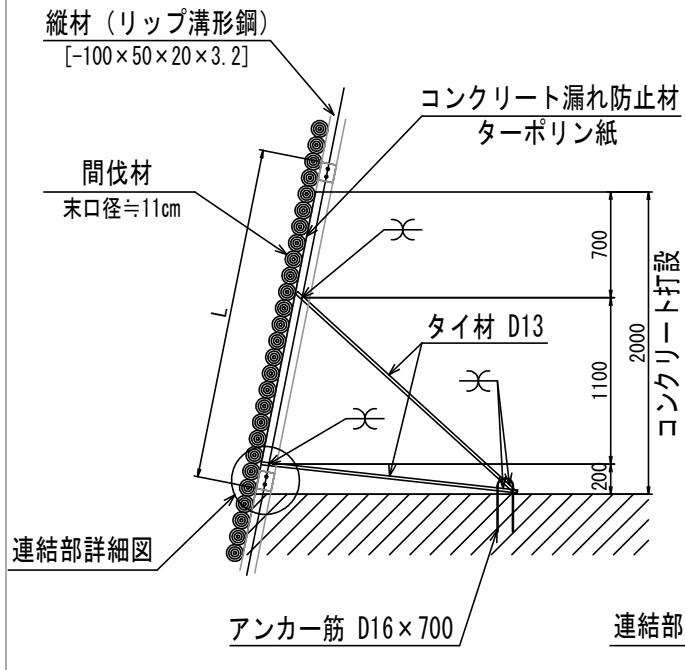


(奥撫地区4沢)

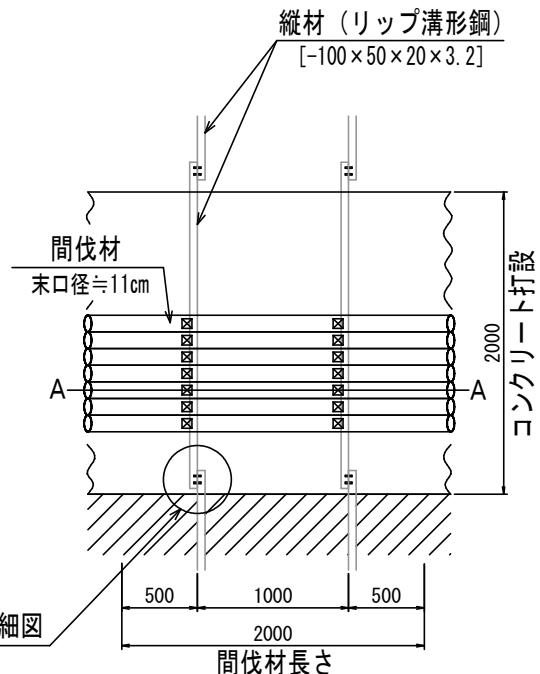
図面名	N0.3コンクリート谷止工間詰図(4沢)		
図面番号	11	縮尺	1:100

# 丸太残存型枠 標準図

断面図  
S=1/50



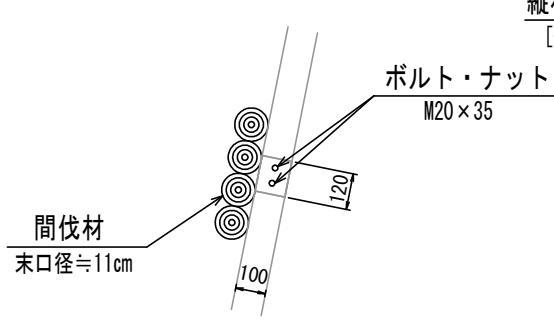
正面図  
S=1/50



連結部詳細図

S=1/25

断面図 拡大



縦材 (リップ溝形鋼)  
[-100×50×20×3.2]

A ~ A 正面図

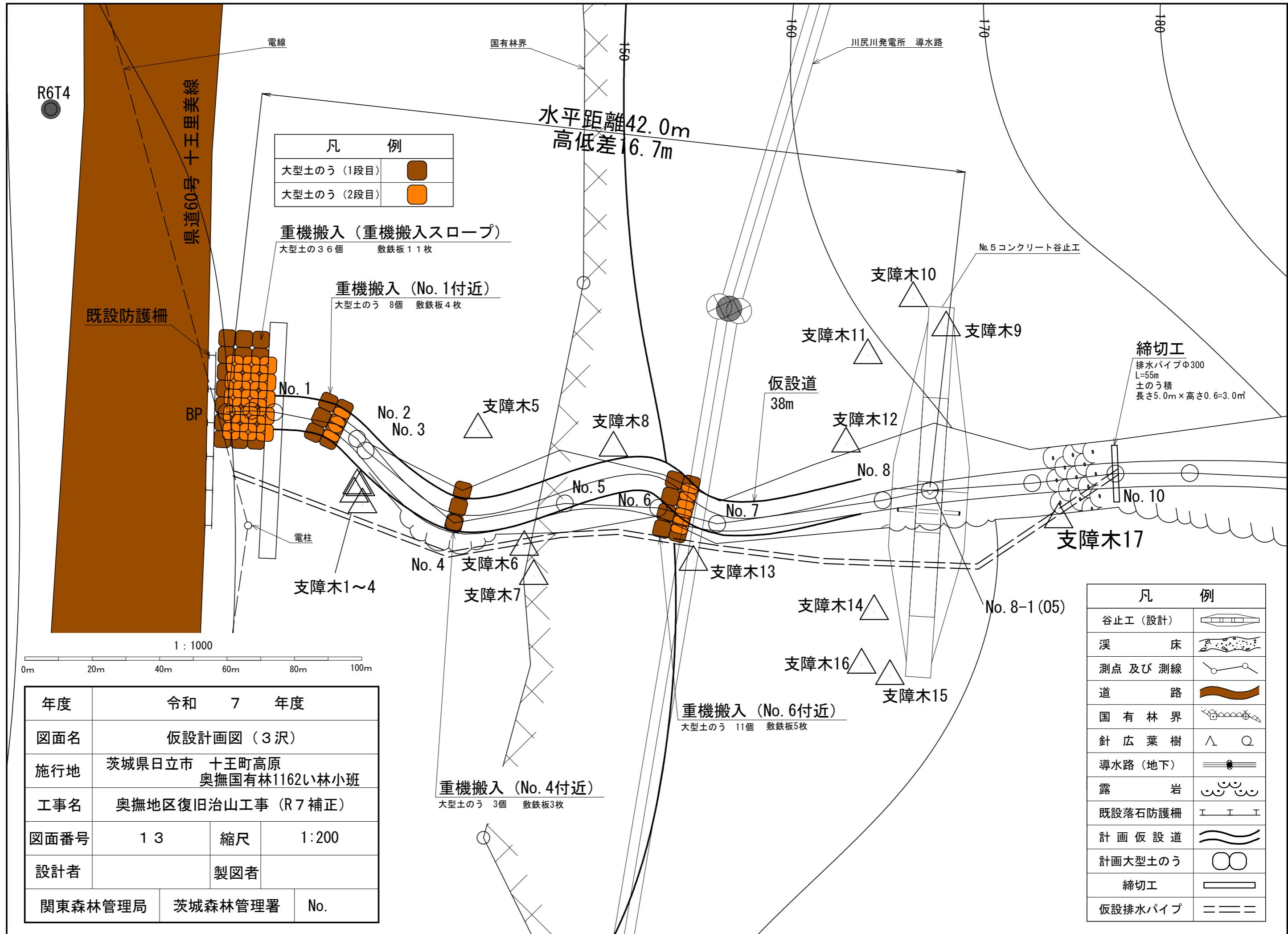
座金 t=3.0  
60×70

間伐材  
末口径≈11cm

コーチスクリュー  
φ9×65

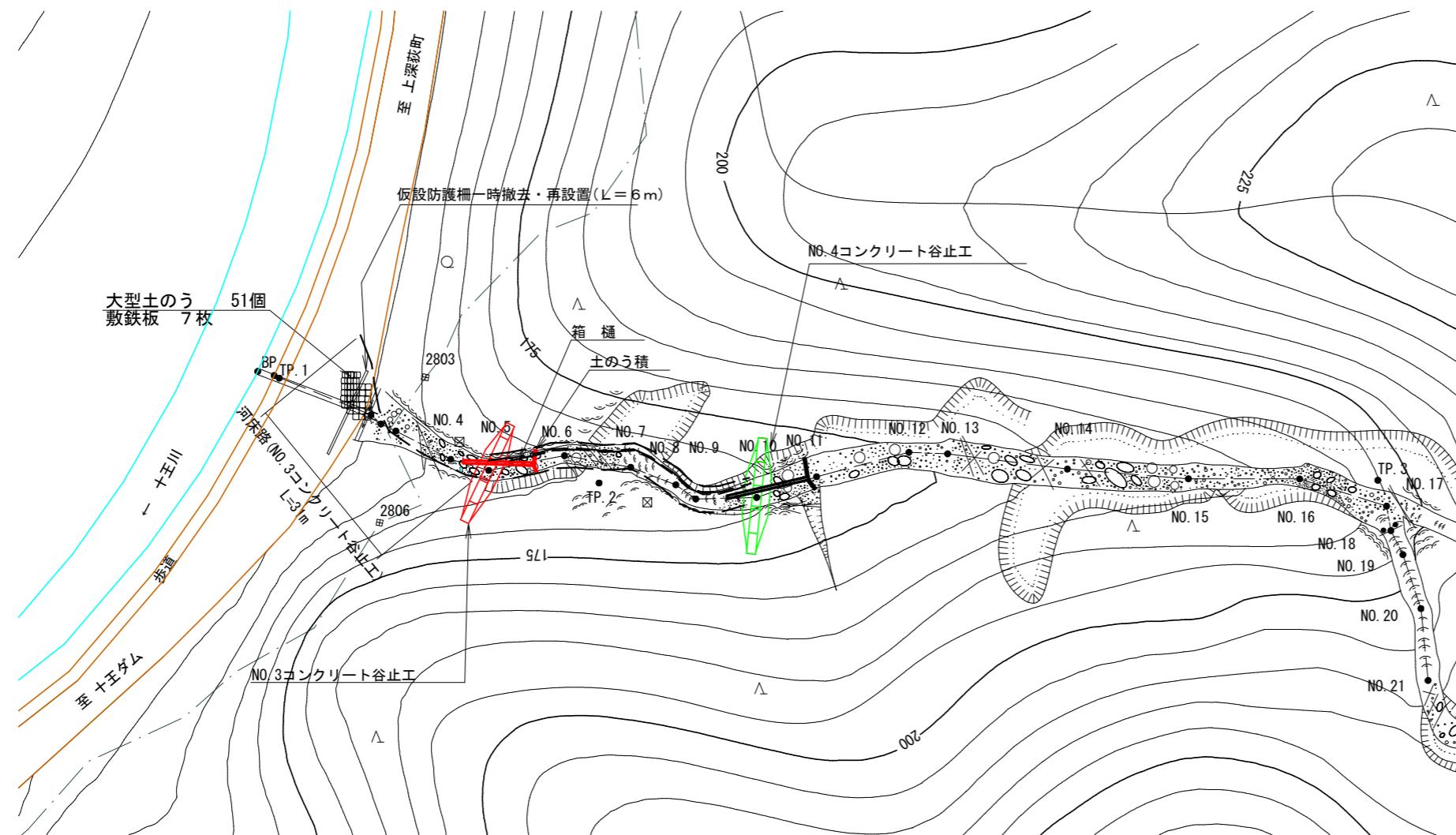
A ~ A 断面図

座金 t=3.0  
60×70



平面図

S=1:1,000



1. 運搬工 (河床路)

重機の搬入及び資材等の運搬は、県道60号線付近を起点として、開設する河床路を利用して行う。

● 河床路 (N.3コンクリート谷止工)

延長31.0m 幅3.0m、不陸均し土量 (1m当たり0.3m<sup>3</sup>)

● 河床路 (N.3コンクリート谷止工)

入口に大型土のう及び敷設板設置。

3. コンクリート工

コンクリートの投入打設は県道60号線にポンプ車を設置し、圧送管を配管して行う。

・ 圧送管延長 (N.3コンクリート谷止工) : L(水平距離)=31m、H(垂直距離)=10m

2. 回排水 (N.3コンクリート谷止工)

表流水は流路を土のう積で締め切り、箱樋で回排水する。

床掘内の湧水はポンプ排水とする。

・ 箱樋 L=14m (巾50cm×深20cm、集水面積15ha未満)

・ 土のう積 2.1m<sup>2</sup> (H=0.3m、L=7.0m、集水面積10ha以下)

4. 仮設防護柵一時撤去・再設置

常陸太田市側の延長6m分を撤去・再設置

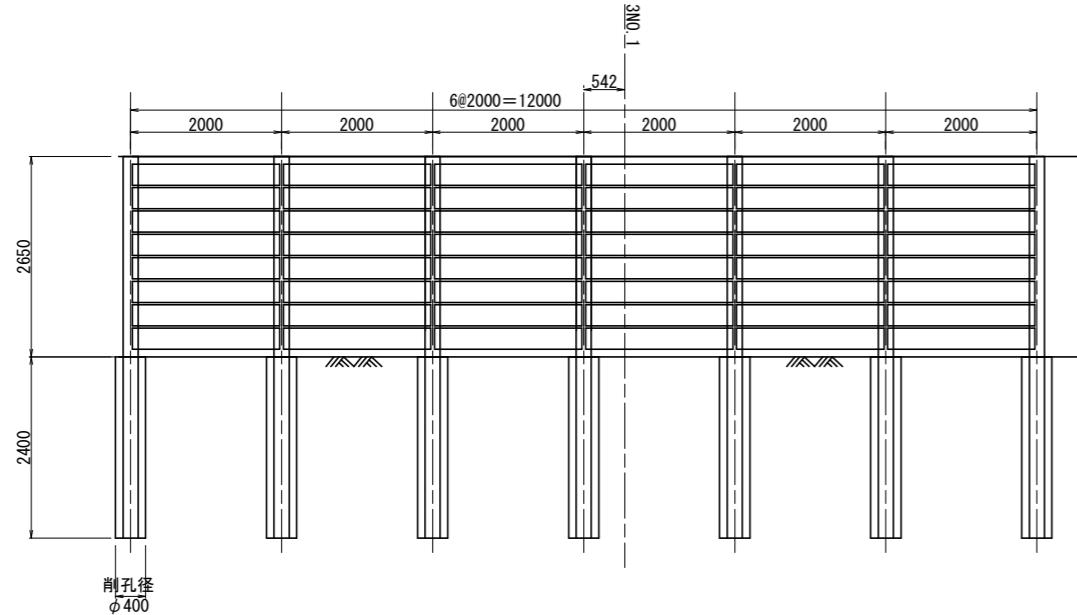
撤去した箇所へ、大型土のうを設置 (県道側3段積)

(奥撫地区4沢)

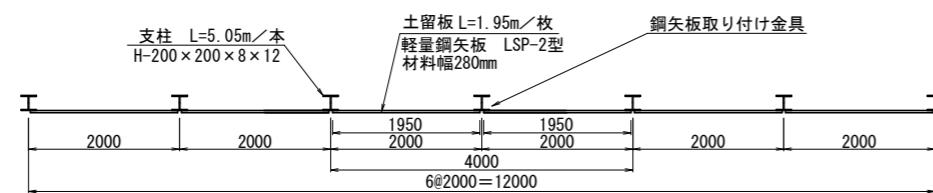
図面名	仮施設計画図		
図面番号	14	縮尺	図示

### 3 沢 仮設防護柵

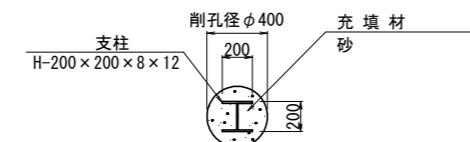
正 面 図 S=1:50  
(A-A)



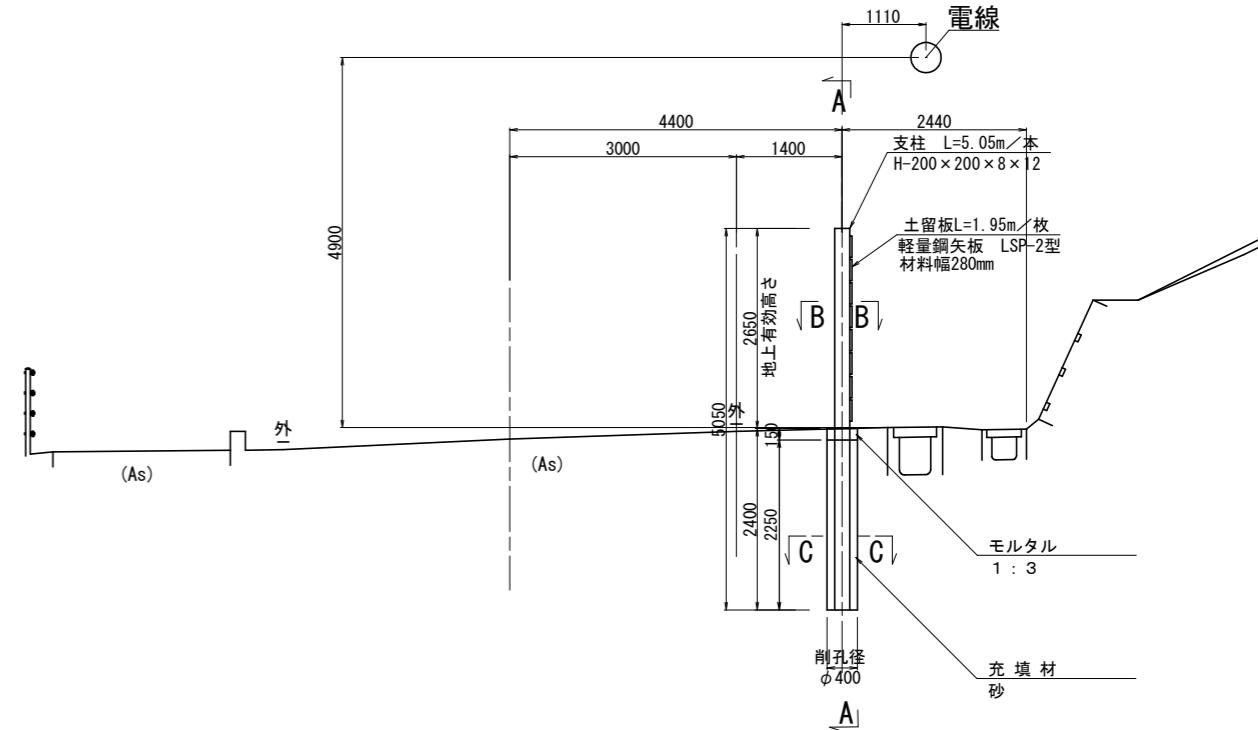
## B-B 断面図 S=1:50



## 根入部断面図 S=1:25 (C-C)



## 側面図 S=1:50



※参考 材料表

種別	規格・形状	単位	数量	備考
支柱	H-200×200×8×12 L=5.05m/本	(本) t	(7) 1.764	L=5.05m×7本=35.35m W=35.35m×49.9kg/m=1764.0kg
土留板	軽量鋼矢板LSP-2型 材料幅280mm t=4mm L=1.95m/枚	(枚) t	(48) 1.105	N=8枚×6列=48枚 W=1.95m/枚×48枚×11.8kg/m=1104.5kg
基礎工	削孔 $\phi 400$	m	16.8	$L=2.4m \times 7\text{本}=16.8m$
	残土処分	m3	2.1	$V=1/4 \times \pi \times 0.40m \times 0.40m \times 2.4m \times 7\text{本}=2.11m^3$
	モルタル 1 : 3	m3	0.1	$V=1/4 \times \pi \times 0.40m \times 0.40m \times 0.15m \times 7\text{本}=0.131m^3$
	充填材 砂	m3	1.9	$V=1/4 \times \pi \times 0.40m \times 0.40m \times 2.25m \times 7\text{本}=1.978m^3$

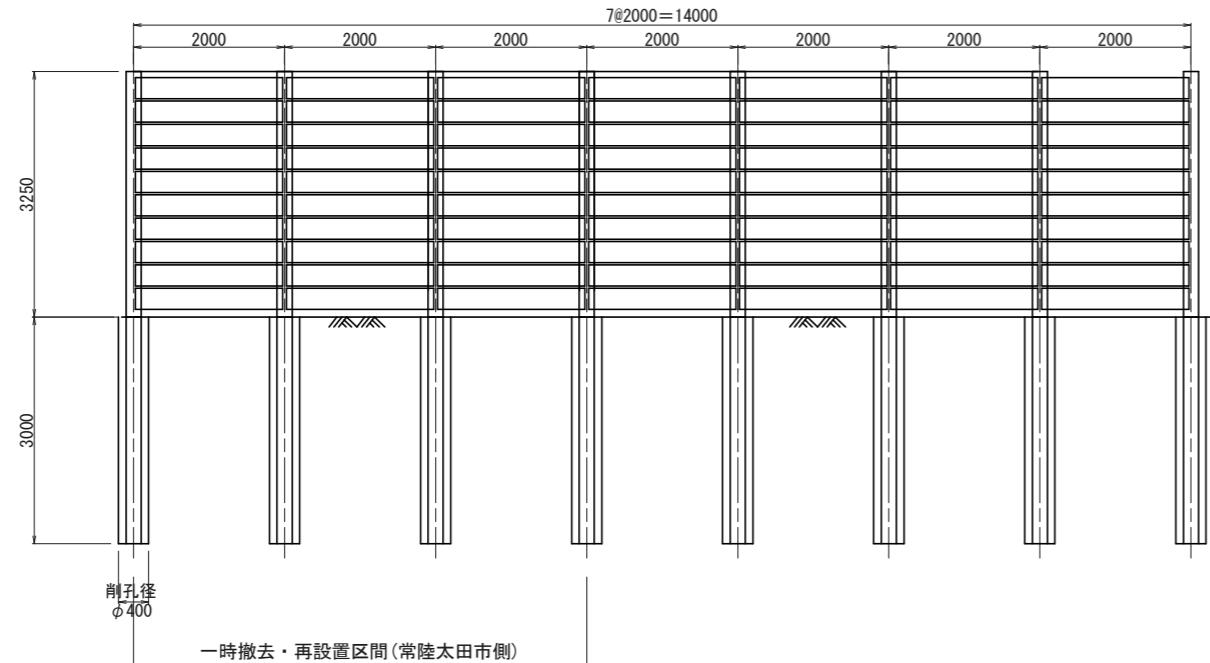
注1) 鋼矢板と支柱は溶接による設置とすること。

注2) 防護柵の地上有効高さ(鋼矢板設置高さ)は、2.5m以上とすること。

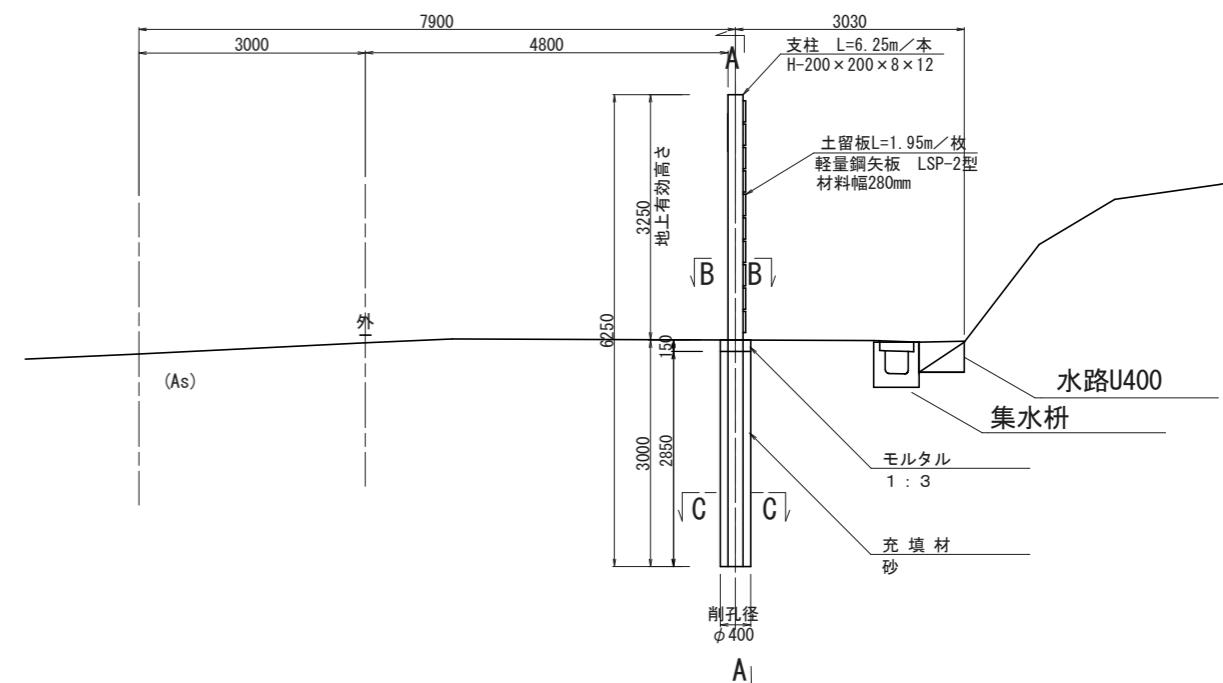
施工年度	令和 7 年度
工事名	奥撫地区復旧治山工事 (R7補正)
工事箇所	茨城県立市十王町高原 奥撫国有林 1162 い林小班
図面種別	仮設防護柵撤去・再設置図 (3 決)
縮尺	図示
図面番号	15

# 4沢 仮設防護柵

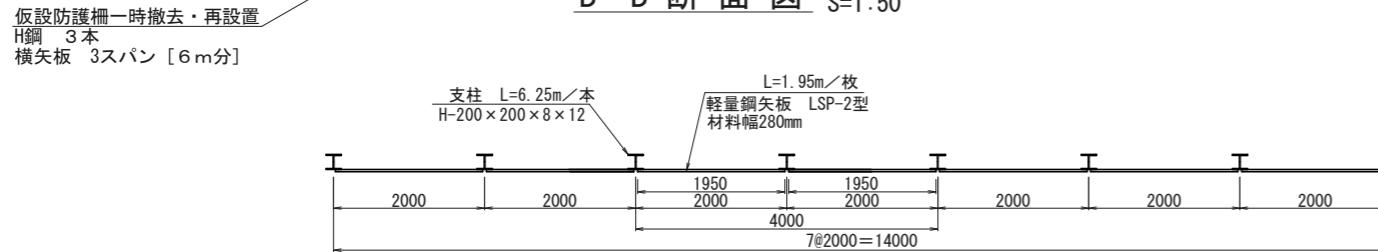
正面図 S=1:50



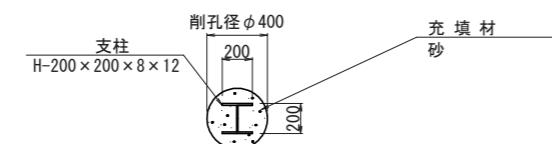
側面図 S=1:50



B-B 断面図 S=1:50



根入部断面図 S=1:25  
(C-C)



※参考  
材 料 表  
(14mあたり)

種 別	規 格・形 状	単 位	数 量	備 考
支 柱	H-200×200×8×12 L=6.25m/本	(本)	(8)	L=6.25m×8本=50.00m W=50.0m×49.9kg/m=2495.0kg
土 留 板	軽量鋼矢板LSP-2型 材料幅280mm t=5mm L=1.95m/枚	(枚)	(70)	N=10枚×7列=70枚 W=1.95m/枚×70枚×14.8kg/m=2020.2kg
基 础 工	削 孔 φ400	m	24.0	L=3.0m×8本=24.0m
	モルタル 1 : 3	m3	0.1	V=1/4×π×0.40m×0.40m ×0.15m×8本=0.150m <sup>3</sup>
	充 填 材 砂	m3	2.8	V=1/4×π×0.40m×0.40m ×2.85m×8本=2.863m <sup>3</sup>

注 1) 鋼矢板と支柱は溶接による設置とすること。

注 2) 防護柵の地上有効高さ(鋼矢板設置高さ)は、3.25m以上とすること。

施工年度	令和 7 年度
工事名	奥撫地区復旧治山工事(R7補正)
工事箇所	茨城県日立市十王町高原 奥撫国有林 1162い林小班
図面種別	仮設防護柵工撤去・再設置図(4沢)
縮尺	図示
図面番号	15